

科目名	資本主義経済論Ⅰ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	CapitalismⅠ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	しまだ こうや	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	嶋田 耕也	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	資本主義経済という世界のシステムがいかに関生してくるのか。				
到達目標	商品・貨幣・資本という抽象概念を理解することで、現実社会を動的に把握できるようにしよう。				
授業概要	現代経済の中心概念たる資本とは何か。またその抽象概念が1500年以降いかに世界経済を発展させイギリスで最初の産業革命を起こしたのか。				
授業計画					
第1回	経済学とはどのような学問か。 経済という言葉の由来。				
第2回	人類の歴史を二区分する。前近代と近代。				
第3回	市場経済の出現。貨幣の役割。				
第4回	貨幣の資本への転化。資本の運動式。				
第5回	資本の運動式の特徴と問題点				
第6回	大航海時代と地理上の発見				
第7回	重商主義政策の発動				
第8回	イギリスにおける毛織物工業の発展				
第9回	第一次産業革命				
第10回	第一次産業革命が経済に及ぼした影響				
第11回	アダム・スミスと重商主義				
第12回	自由主義経済政策の確立				
第13回	金本位制の確立				
第14回	資本主義経済の世界的展開				
第15回	19世紀世界資本主義から20世紀世界資本主義へ				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	日頃から新聞テレビなどで、経済現象に対して関心を持つようにしましょう。				
履修条件 受講のルール	資本主義経済論Ⅱも履修することが望ましい。 授業には必ず出席するように。				
テキスト	中村達也・新村聡・八木紀一郎・井上義朗(2001)『経済学の歴史』有斐閣を薦める。				
参考文献・資料	講義中に適宜、紹介します				
成績評価の方法	定期試験の点数で評価を決定します。 ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	水曜日に来訪してください。				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	抽象的概念のイメージ化を目指そう。